

かぐてんたいさく 家具転対策

家具類の転倒・落下・移動防止対策

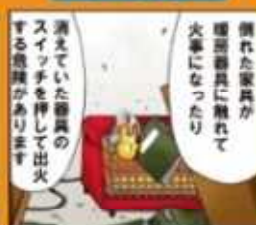
固定していない家具や家電製品は地震が発生した際けがや火災、避難の妨げとなる可能性があります。特に地震時のけがは、原因の約30%から50%が家具類の転倒・落下・移動によるものです。家具転対策で災害に強い部屋をつくりましょう！

家具転対策をしていないと起こる3つの危険

けが

火災

避難障害



家具転対策って何をすればいいの？

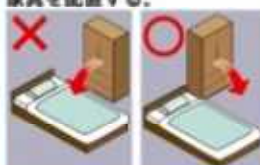
集中収納

クローゼットなどに物を収納し生活空間の家具を減らす。



レイアウトの工夫

地震時に避難の妨げやけがの原因とならない位置・向きに家具を配置する。



対策器具の設置

家具、家電製品ごとに適切な方法で固定する。



かぐてんたいさく

更に詳しいやり方
東京消防庁 HP



感震ブレーカー

電気を自動的に遮断して過電火災を防ぐことができます。家具転対策プラスで災害に強い住まいを。



担当：東京消防庁 防災部 震災対策課 03-3212-2111（内線 3958）
※補助金、助成金の内容は区市役所や町村役場にお問い合わせください。

